

小作爭議調查表

昭和九年

No. 3

(月報番號第一八一號)

(昭和十年一月分)

財團法協調查會福岡出張所

場 所	關係人員	地主關係團體	原因	事項	經過
山開新 瀨高町 大字 東津島	地主 石橋 雅外七名 小作人 石橋 初清 外四九名	小作人	此地は附近村決り此の小作料 若干年爲 減額を希望し、然る各地に減額問題が起り、其の早敷と換りし土月二十日協議、結果永久至今大倉港の減額と各地に互に解決す。	小作料 永久至今大倉港減額要求	地主は單独固冬と此の小作料を要求し、之を納入せざるを以て十一月二十五日石橋方と集各米協成、之を要求拒絶の通文を付し、小作人側は主張を撤回、米小作土地引上と報作人との威嚇、之を以て小作人側に至りては小作料不納を決定し、遂に反者、遠約金と一百万を徴収する旨契約せし、然るに、此の度強硬なり、此の小作料は小作料、永久至今大倉港の減額を希望し、昨年年度分、其の減額を、小作料減額考慮、旨、石橋方、小作料に、之を希望す、若し、之を以て、駐在署に、之を付及、之を、主張、之、一月十五日、代表協成、結果、之を、解決す。

備 考	結 果
	原店一割五分、原中六割七、認め。